

証券コード:7472

“百年の信頼を、未来につなげる”

株式会社鳥羽洋行
会 社 説 明 会

2021年11月28日(日)



株式
会社 鳥羽洋行

皆様へお伝えしたい事

- ◆積極的な株主還元
配当方針、株主優待制度
- ◆生産設備の専門商社
- ◆独自の営業体制
- ◆創業 1 1 5 周年

積極的な株主還元（株価・配当情報）

11/26（金）の株価・配当金予想

終値（11/26） **2,583円**

今期の配当金予想 **110円**

※2021年11月4日発表

予想配当利回り **4.26%**

積極的な株主還元（株価・配当情報）

11/26（金）の株価・PBR・PER

終値（11/26）

2,583円

P B R

※2021年3月 期純資産額より算出

0.60倍

P E R

※2022年 3 月期 業績予想より算出

8.80倍



株式
会社

鳥羽洋行

積極的な株主還元（株主優待）

●株主優待は「クオ・カード」を採用しています



対象株主	単年度	継続保有 3 年以上
1,000株以上	3,000円	6,000円
100株以上1,000株未満	1,000円	2,000円

＜クオ・カードの代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

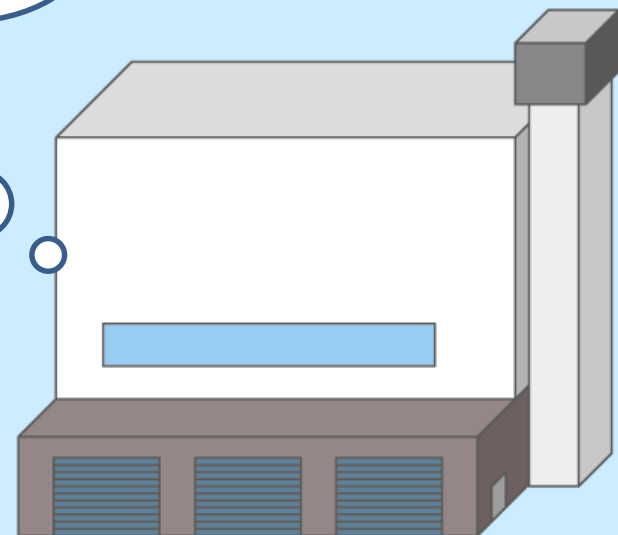
株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

生産設備の専門商社

私たちの生活を取り巻くあらゆるモノが工場で作られています。



鳥羽洋行は、生産設備に関する
商材を取り扱う専門商社です。



機械工具専門商社の分類例

1. 販売形態による分類

① **直販型**

② 卸売型

③ 通信販売型

2. 取扱い商品による分類

① **組立**

② 工作機械関連

③ 電気部品・部材

④ その他

3. 販売地域による分類

① **広域展開**

② 地域限定

機械工具専門商社と表現されますが、企業ごとに特徴に差があります。

鳥羽洋行独自の営業体制

1. 販売体制

- ・ メーカー様より直接仕入、ユーザー様へ直接販売

2. 卓越した専門スキル

- ・ 各種専門資格の取得 ⇒ メーカー代行営業

3. 国内外に広がる販売ネットワーク

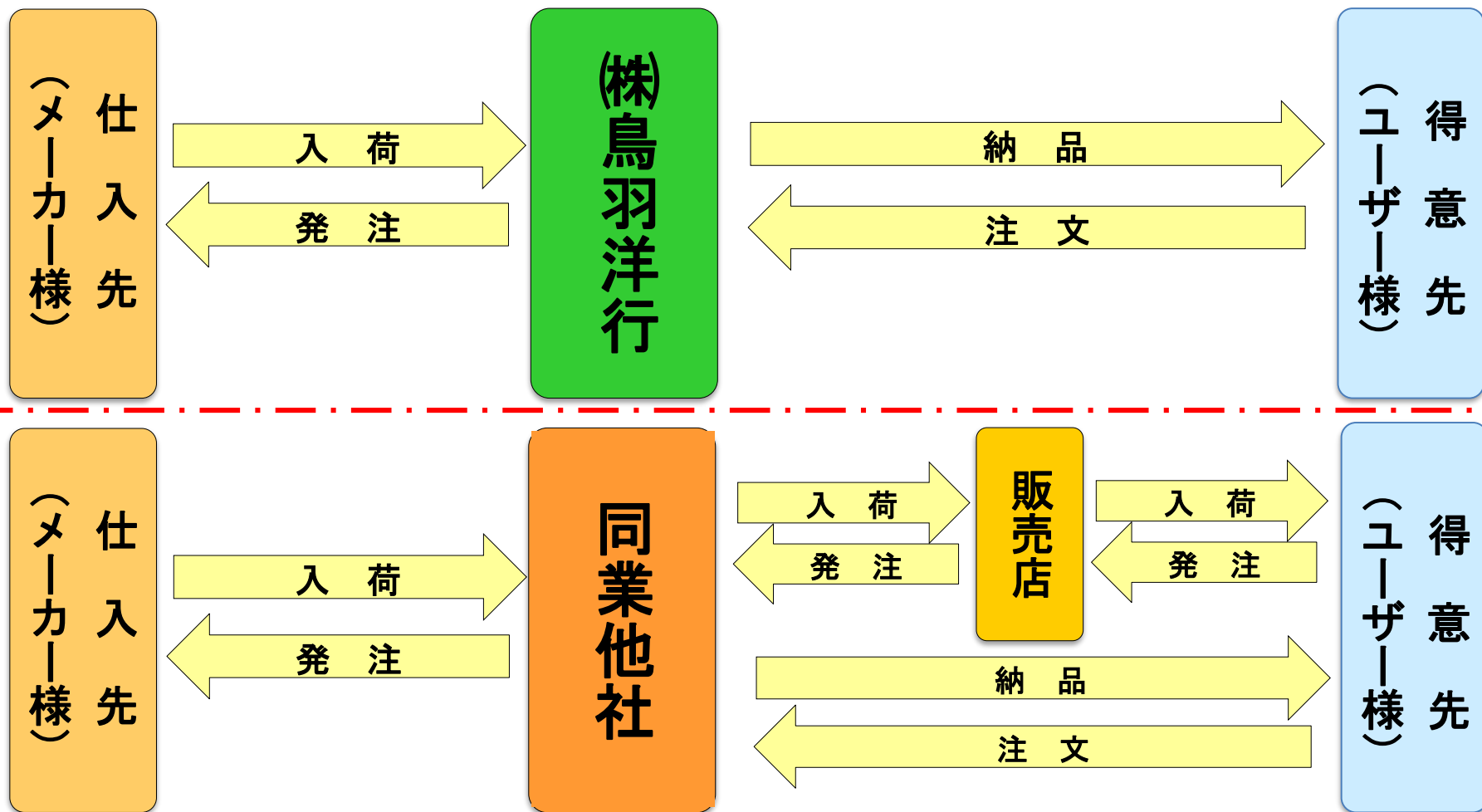
- ・ 国内22拠点、海外3カ国 5 拠点

4. 強固な顧客基盤

- ・ 幅広い業種の代表的な企業と取引

1. 販売体制 (ビジネススタイル)

- ・ ユーザー様は当社に依頼することで生産コストの低減と高品質化を実現
- ・ 『直接仕入』⇒ 仕入先様から直接製品を購入
- ・ 『直接販売』⇒ 得意先様に直接訪問し販売



1. 販売体制（取扱い商品例）

制御機器	 エアシリンダ  バルブ  センサー
F A 機器	 産業用ロボット  マウンター（実装機）  レーザー加工機
産業機器	 電動ドライバー  ベルトコンベア  電気チェーンブロック

(ご参考) 主要仕入先 (五十音順)

<制御機器>

- S M C 株式会社
- パナソニックインダストリアルマーケティング＆セールス株式会社

< F A 機器>

- 株式会社アイエイアイ
- 株式会社アマダウエルドテック
- 株式会社ジャパンユニックス
- T H K 株式会社
- 株式会社デンソーウェーブ
- 日東精工株式会社
- 武蔵エンジニアリング株式会社
- ヤマハ発動機株式会社

<産業機器>

- 株式会社エスティック
- 三機工業株式会社
- 日本インテグリス合同会社

(ご参考) 2. 卓越した専門スキル

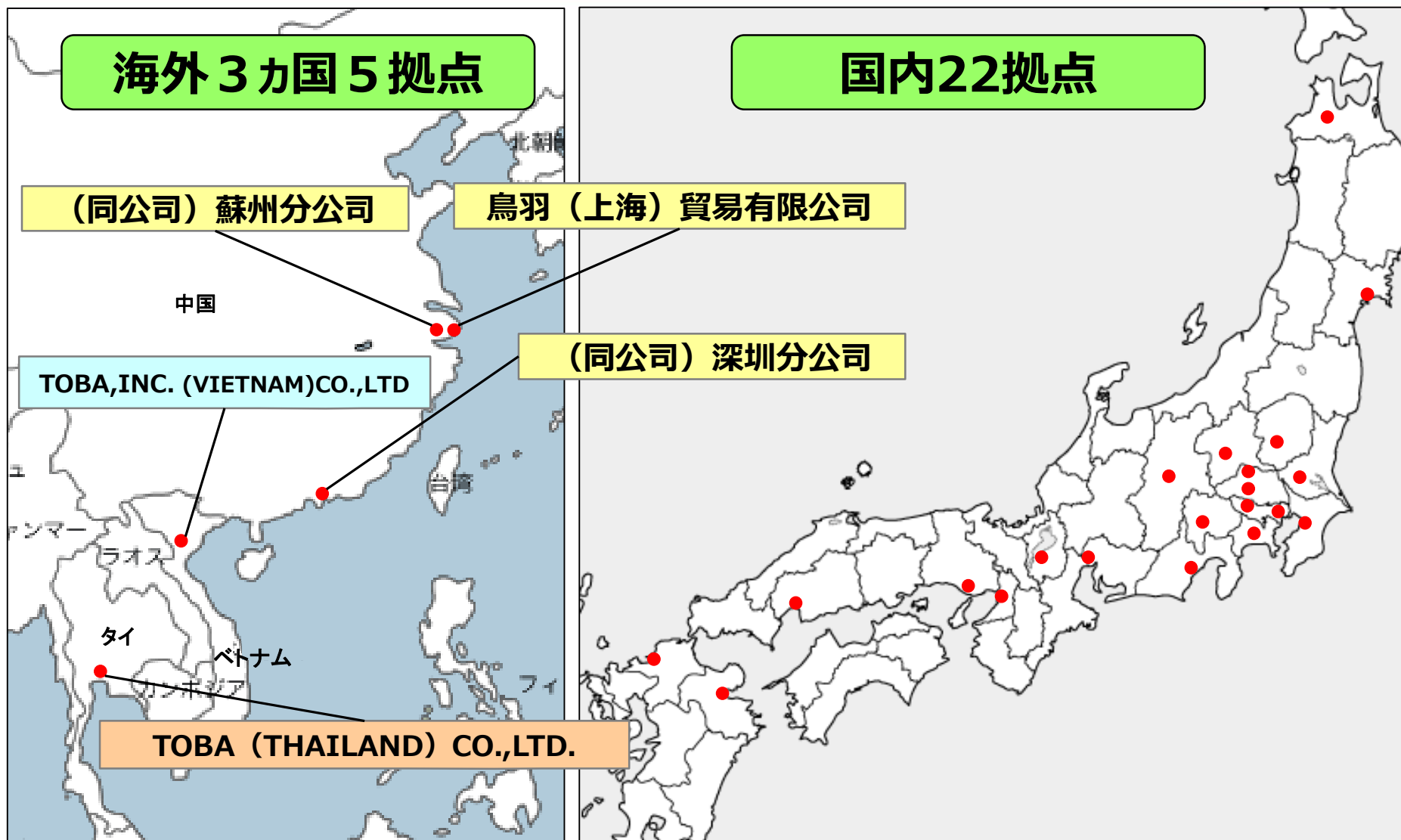
(2021年9月30日現在)

所持している資格等 (重複所持含む)

■ 空気圧装置組立技能士 1 級	79名
■ 空気圧装置組立技能士 2 級	47名
▲ SMC SE認定	48名
▲ SMC販売スキル研修修了者	9 名
▲ IAI SE	54名
▲ デンソーロボット SE認定	42名
▲ パナソニック IPD SE認定	1 名
■ 2 級建築施行管理技術	1 名

など

3. 国内外に広がる販売ネットワーク



会社概要

- 社 名：株式会社鳥羽洋行（TOBA,INC.）
- 本 社：東京都文京区水道二丁目8番6号
- 創 業：1906年（明治39年）
- 設 立：1949年（昭和24年）
- 資本金：11億4,800万円
- 従業員数：【連結】260人・【単体】232人
- 販売拠点：国内22拠点・海外3カ国5拠点
- 上場市場：東京証券取引所JASDAQスタンダード
- 証券コード：7472

※従業員数は、2021年9月30日現在です。

➤ 新市場区分「スタンダード市場」選択申請

東京証券取引所における市場区分の見直しに伴い、
2022年4月4日に移行が予定される新市場区分に関し、
当社は「**スタンダード市場**」を選択申請いたしました。

鳥羽洋行の沿革



創業者である鳥羽真作は、中国（大連市）にて、南満州鉄道を主たる取引先として創業

昭和40年代以降は、省力化・自動化機器（FA機器）を中心に販売展開
"FA プランナー TOBA"



昭和30年～40年代
空気圧機器中心に販売展開
"空圧のTOBA"



1906年9月 創業
中国（大連市）



（旧銀座本社及び二代目社長：鳥羽実）

1949年12月 設立
中央区（銀座）

1995年11月
JASDAQに上場

1998年9月
文京区に本社移転

2008年12月
鳥羽(上海) 貿易有限公司設立

2012年5月
TOBA (THAILAND) CO.,LTD.設立

2014年7月
TOBA,INC.ハノイ駐在員事務所設立

2020年6月
TOBA,INC.(VIETNAM)CO.,LTD設立



（現在の鳥羽洋行本社）

創業より110年以上、国内外のモノづくりに貢献してまいりました。



株式
会社

鳥羽洋行

企業理念

信用第一主義

社 是

- 1 当社は社会人類に貢献するためにある
- 2 当社は社員の向上と幸福を計るためにある
- 3 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する
- 4 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する
- 5 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく

当社をとりまく市場環境

◆ 国内の市場環境

コロナワクチンの接種率も向上し、9月末をもって緊急事態宣言等が解除され、経済活動正常化の期待はあるものの、依然として個人消費の低迷は継続し、国内経済の先行きは不透明。

◆ 半導体及び半導体・液晶製造装置業界および電子部品業界

各企業によるD Xの推進や次世代通信規格5 G等により半導体需要が拡大を続けており、設備投資は好調を維持していくものと予想。

◆ 自動車・車載部品業界

自動車産業は、世界的な半導体不足やコロナ禍における海外（東南アジア）の生産停止による部品不足等が影響し、生産量が抑制され設備投資も停滞している。自動車産業全体の正常化は、年明け前後までずれ込んでくるものと予想。

◆ 仕入商品需給のひっ迫、コスト増

世界的な半導体不足、部品不足、原材料高、原油高等により、当社仕入先の商品需給がひっ迫しており、納期の長期化および仕入コストの上昇が懸念材料となっている。

当社をとりまく市場環境

◆ 海外の市場環境

◆ 米国経済

ワクチン接種は順調に進展し、1.9兆ドルの政府による経済対策もあり、米国経済は回復してきた。2021年7-9月は多少失速したが、回復は継続していくものと予想している。

◆ 欧州経済

コロナ感染の増減をくり返しているものの、ワクチン接種の対象範囲の拡大や追加接種が進んでおり、制限緩和され、経済活動の正常化が進んでいる。

◆ 中国経済

いち早くコロナ禍から回復した中国の内需は堅調に推移しており、今年度中は継続していくものと予想しているが、恒大問題や電力不足等の不安材料がでてきており、今後の動向に注視していく必要がある。

半導体や電子部品等のハイテク製造業の設備投資は、高成長が続いており、当社グループの主要得意先であるスマートフォンに関連する得意先の設備投資も、好調を継続していくものと予想している。

今期の戦略について

<今期の戦略>

◆次世代の柱となるユーザー開拓

- ▶ 5 G 関連潜在需要の取り込み
半導体、電子部品、CASE、スマートフォン、基地局、ゲーム等に関連する得意先
- ▶ 三品業界など自動化が進んでいない得意先への協働ロボット等、F A 機器の販売を積極的に展開

◆装置・システム案件の更なる拡販

- ▶ 単品販売から製造ラインの自動化まで、システムインテグレーション事業として拡販

◆半導体向けろ過フィルターやEビジネスでの売上拡大

- ▶ 専任担当者の増員等を検討し拡販

◆新商材の発掘

- ▶ 新型 A G V、新規協働ロボット等

◆海外拠点との連携強化し売上拡大

- ▶ ベトナム現地法人の早期黒字化支援
- ▶ 新規進出拠点検討

2022年3月期第2四半期決算①

< 2022年3月期第2四半期 連結損益計算書の概要 >

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	
	2 Q	2 Q	
	実績	実績	前年同期比
売上高	12,194	14,415	18.2%
営業利益	595	898	50.8%
経常利益	673	944	40.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	470	660	40.3%

2022年3月期第2四半期決算②

<2022年3月期第2四半期 連結貸借対照表の概要>

(単位：百万円)

	21/3月末	構成比 (%)	21/9月末	構成比 (%)	備 考
流動資産	20,786	76.3	20,636	75.8	
現金・預金	10,173	37.4	9,648	35.4	
受取手形・売掛金 ※1	10,163	37.3	10,725	39.4	
商品	368	1.4	185	0.7	
固定資産	6,443	23.7	6,593	24.2	
資産合計	27,230	100.0	27,229	100.0	
流動負債	8,397	30.8	7,958	29.2	
支払手形・買掛金 ※2	7,596	27.9	7,195	26.4	
固定負債	471	1.7	514	1.9	
負債合計	8,869	32.6	8,472	31.1	
純資産合計	18,361	67.4	18,757	68.9	
負債純資産合計	27,230	100.0	27,229	100.0	

(※1) 電子記録債権を含む

(※2) 電子記録債務を含む



株式
会社

鳥羽洋行

2022年3月期第2四半期決算③

＜2022年3月期第2四半期キャッシュ・フロー計算書の概要＞（単位：百万円）

	2021年3月期 2Q	2022年3月期 2Q	キャッシュ・フローの状況
営業活動によるC F	166	37	・税金等調整前四半期純利益の計上（+948百万円） ・棚卸資産の減少（+182百万円） ・売上債権の増加（△466百万円） ・仕入債務の減少（△438百万円） ・法人税等の支払（△270百万円）
投資活動によるC F	△578	△223	・定期預金の払戻（+1,000百万円） ・定期預金の預入（△1,000百万円） ・無形固定資産の取得（△170百万円）
財務活動によるC F	△212	△366	・配当金の支払（△433百万円）
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	27	
現金及び現金同等物の増減額	△628	△525	
現金及び現金同等物の期首残高	9,742	9,673	
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,114	9,148	

2022年3月期の業績予想（連結）

<2022年3月期の業績予想>

（単位：百万円）

	21/3月期 （実績）	22/3月期 （予想）	前期比 （増減率）
売上高	25,040	28,500	13.8%
営業利益	1,272	1,720	35.2%
営業利益率	5.1%	6.0%	+0.9 P
経常利益	1,384	1,810	30.7%
経常利益率	5.5%	6.4%	0.9 P
親会社株主に帰属する 当期純利益	949	1,270	33.8%
当期純利益率	3.8%	4.4%	+0.6 P

※2021年11月4日に業績予想の修正を発表しました。



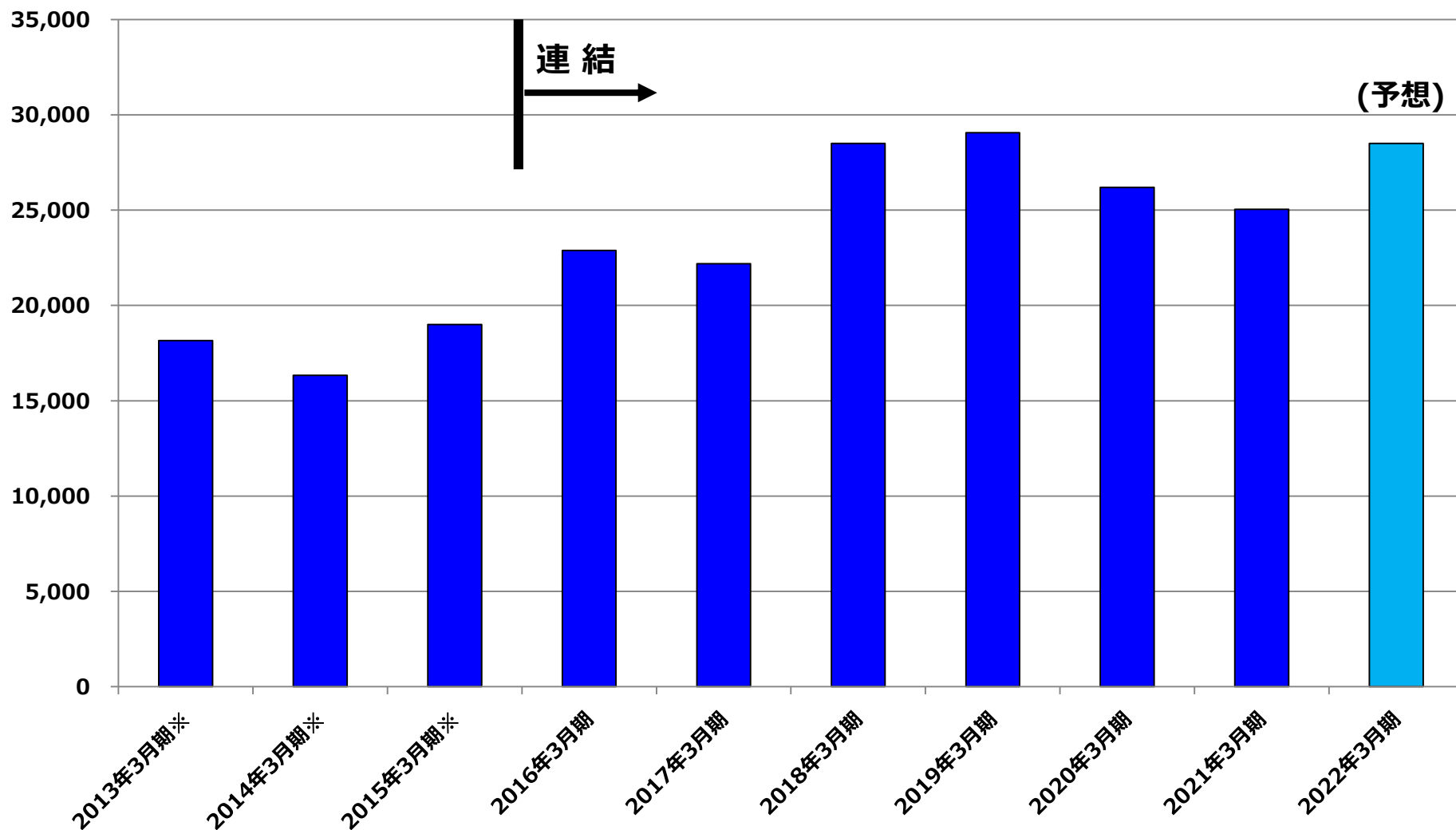
株式
会社

鳥羽洋行

売上高推移グラフ

(百万円)

売上高推移



※2016年3月期から連結財務諸表を作成しているため、2015年3月期以前は単体の数値です。

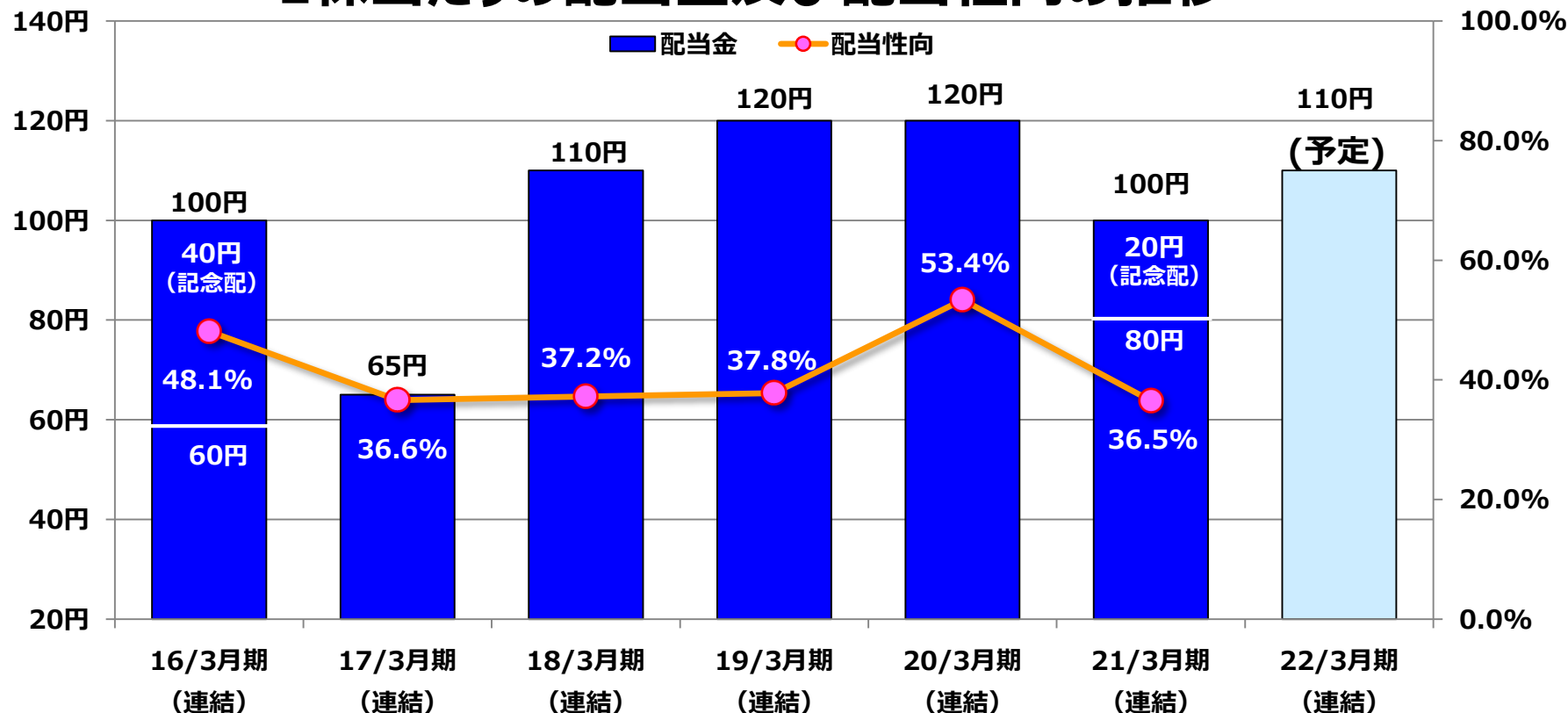


株式
会社

鳥羽洋行

株主様への還元

1株当たりの配当金及び配当性向の推移



※16/3月期については、創業110周年記念の記念配当金40円が含まれております。

※21/3月期については、創業115周年記念の記念配当金20円が含まれております。

■ 株主還元方針

- 1株当たりの配当金 **40円**下限
- 連結配当性向 **35%**以上

株主様への還元

●株主優待は「クオ・カード」を採用しています



対象株主	単年度	継続保有 3 年以上
1,000株以上	3,000円	6,000円
100株以上1,000株未満	1,000円	2,000円

＜クオ・カードの代金の一部は、「緑の募金」へ寄付されます。＞

株主優待の割当基準日は、毎年9月末日です。

皆様へお伝えしたい事

- ◆積極的な株主還元
配当方針、株主優待制度
- ◆生産設備の専門商社
- ◆独自の営業体制
- ◆創業 1 1 5 周年

積極的な株主還元（株価・配当情報）

11/26（金）の株価・配当金予想

終値（11/26） **2,583円**

今期の配当金予想

※2021年11月4日発表

110円

予想配当利回り

4.26%

積極的な株主還元（株価・配当情報）

11/26（金）の株価・PBR・PER

終値（11/26）

2,583円

P B R

※2021年3月 期純資産額より算出

0.60倍

P E R

※2022年3月期 業績予想より算出

8.80倍



株式
会社

鳥羽洋行

株式会社鳥羽洋行

7472

<https://www.toba.co.jp/>



株式
会社

鳥羽洋行

この資料には、2021年11月26日現在における弊社の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競業状況等に関わるリスクや不安定要因により実際の業績が記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

従いまして、その内容につきましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、本プレゼンテーションは、投資を勧める目的のものではございません。

[問い合わせ先]

株式会社 鳥羽洋行

管理本部総務グループ I R 担当

住 所：〒112-0005

東京都文京区水道 2 丁目 8 番 6 号

電話番号：03-3944-4031

F A X：03-3944-4091

E メール：kanri-01@toba.co.jp



株式
会社

鳥羽洋行